

## — 既製衣料の試着テスト —

文化女大 三吉満智子 甲南女大 木岡悦子 京都女大 ○福井弥生  
 静岡大 大村知子 東海学園女短大 辻 啓子 相模女大 永井房子  
 相山女学園大 中保淑子 大妻女大人間生科研 布施谷節子

目的 第4報で“既製衣料と身体寸法の差”について検討をしたが、本報はそれを被検者に着用させた時、運動に対して身体部位別に適切な許容量であるか等を、検討する目的で試着テストを実施した。

方法 試着衣料はA社のニツトのトレーナー上・下と布帛のブラウスと長ズボンを採用した。被検者は4報で計測した中から抽出した4名である。実験に用いたサイズは「80」および「90」で、同サイズ・素材の上・下衣を組合わせて、歩く、座る、階段昇降、上肢上挙等の動作をさせ、上衣5、下衣6部位について、4段階評価に基づきチェックし、その結果を数値化し、分散分析法も併せて行い考察した。同時に試着衣料の寸法と被検者の身体寸法の差も考慮に入れて検討を行った。

結果 テスト結果は、ニツトの「80」では、上衣はほぼ「良い」、下衣は、ヒップのゆるみが多過ぎて「悪い」。「90」では、上衣は、ゆき、着丈、バストは、大き過ぎて「悪い」の評価であった。その中でもリブ編みである袖口、首ぐりは、少々大きくてもその部位に沿ってくれるが、上衣の裾口は運動中にまくれ上がり、自分では下げようとしないので腹部が見えたままになる。下衣はヒップのゆるみ、股上及び股下丈が長過ぎて「悪い」の評価である。布帛では、上衣は「80」、「90」ともにゆきが長過ぎる。下衣は「80」、「90」ともにズボン丈、股下丈が長過ぎ、歩行の際危険である。ヒップは、おむつを着けるとはいえ、ゆるみが多過ぎる。分散分析の結果、“試着の評価段階”及び“試着衣料と被検者の寸法差”ともに、サイズ間に高度な有意差がみられた。